

2015年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
1	5月29日(金)	南相馬市鹿島区 寺内権現沢仮設住宅	仮設住宅入居者 (南相馬市民)	18人	支部職員 指導員 生活支援相談員 地区分区 南相馬市鹿島赤十字奉仕団 合計	1人 2人 2人 1人 5人 11人 この仮設住宅での開催は初めてです。小高区の方が多く入居している住宅です。管理戸数は148戸、現在の入居は約80戸となっています。ペットの入居が可能なので、犬を飼っている方が多くいるそうですが、ペットのことでのもめ事などもあるとのことでした。「今日はこの4年の間で一番楽しかったから、また来てほしい」と80歳代のおじいさんに言っていただきました。
2	6月3日(水)	いわき市 上荒川仮設住宅	仮設住宅入居者 (檜葉町民)	18人	支部職員 指導員 生活支援相談員 いわき市平方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 2人 5人 11人 檜葉町民向けが一番大きな仮設住宅団地です。入居率も250戸の内243戸と90%以上です。でも、小学生は7名しかいません。この仮設住宅での開催は初めてになります。皆さん大いに笑い楽しい時間を過ごされたようでした。
3	6月30日(水)	いわき市 泉公民館	借上げ住宅入居者 (大熊町民)	26人	支部職員 指導員 生活支援相談員 日赤なみえ保健室 いわき市小名浜方部赤十字奉仕団 合計	3人 2人 6人 2人 5人 18人 いわき市に避難されている大熊町の借上げ住宅の方々を対象に初めて開催しました。終始朗らかに楽しい時間を過ごされたようでした。アンケートには「早く地元の人と友達になれるようにしたい」というコメントが多くありました。「住民票をいわき市に移さないと、いわき市の公民館での行事に参加しにくい」ともおっしゃっていました。
4	7月10日(金)	広野町 上北迫地区集会所	広野町民	18人	支部職員 指導員 地区分区 いわき市平方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 1人 10人 15人 広野町に避難先から戻った北迫地区の住民の方を対象に行いました。町には戻れるようになりましたが、まだ4割程度しか戻っていない状況です。住民たちで作った「九十九会」という会で定期的にお茶会などを開催してしたので、今回はこれに合わせて「にこにこ健康教室」を開催しました。茨城県支部の指導員には、ホットタオルの活用や歌の会などをして頂きました。参加者には大いに笑って頂くことができました。

2015年度 事業名 赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
5	7月14日(火)	いわき市 高久第八仮設住宅	仮設住宅入居者 (楡葉町民)	24人	支部職員 指導員 地区分区 生活支援相談員 いわき市平方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 1人 2人 5人 12人 管理戸数123戸に対し105戸と入居率はまだ高い仮設住宅です。6月の発表では、9月5日に楡葉町の避難指示が解除されるとのことでした。4月からそのための準備宿泊が始まったので、宿泊に帰っている方も多くいるようでした。「帰還に向けて気持ちの準備を少しずつしている」というお話しをしてくれる参加者もありました。レクリエーションの時間には、奉仕団の皆さんによるお手玉回しなどの出し物があり、大笑いしながら楽しみました。
6	7月29日(水)	いわき市 泉仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	25人	支部職員 指導員 地区分区 いわき市小名浜方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 5人 5人 14人 いわき市でも大きな仮設団地ですが初めての開催になりました。いわき市出身の栃木県支部の方に来て頂き、救急法やホットタオルなどを指導して頂きました。参加者の皆さんには、親近感を感じて頂いた様でした。
7	8月5日(水)	白河市 郭内第二仮設住宅	仮設住宅入居者、 借上げ住宅入居者 (双葉町民)	27人	支部職員 指導員 地区分区 生活支援相談員 白河市赤十字奉仕団 合計	2人 2人 4人 2人 4人 14人 昨年度に続き2回目の開催でしたが、初めて参加する方が多くいました。来週の夏祭りの準備のため、集会所にも提灯などの飾りつけがありました。夏休みには、普段会えない人たちが集まるので楽しみにしているということでした。借上げ住宅に移る方が多くて、第一・第二仮設住宅合せても50世帯以下とのことでした。仮設住宅に残っているのは寂しいとの声をたくさん聞きました。
8	8月21日(金)	郡山市 喜久田ふれあいセンター	郡山市在住の 双葉町民	22人	支部職員 指導員 地区分区 プロGRESSジャパン 郡山市赤十字奉仕団 合計	2人 2人 6人 1人 4人 15人 郡山市内の借り上げ住宅に住んでいる双葉町民の皆さんが対象でした。仮設住宅ではこのような健康教室が開催されているが、借上げ住宅では開催が無いということで、地区分区からの依頼がありました。広島のプロGRESSジャパン代表の中本さんに、キネステティックの一部についてや、立ち上がり方などを指導してもらいました。借上げ住宅向けにも必要な事業だと感じました。

2015年度 事業名 赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
9	9月1日(火)	郡山市 富田町若宮前仮設住宅 おだがいさまセンター	仮設住宅入居者、 借上げ住宅入居者 (富岡町民)	16人	支部職員 指導員 地区分区 生活支援相談員 郡山市赤十字奉仕団 合計	2人 2人 4人 3人 5人 16人 富岡町社協がある「おだがいさまセンター」は仮設住宅入居者も利用頻度が高く、毎日様々な行事が開催されています。高齢者の方からも、「次回も参加します」、「継続して開催して下さい」というようなアンケート回答が多く見られました。若い生活支援相談員さん達は、立ち上がり支援などで年配の参加者と一緒に体を動かしたりして、真剣に取り組んでいました。
10	9月3日(木)	いわき市 林城八反田仮設住宅	仮設住宅入居者 (檜葉町民)	21人	支部職員 指導員 いわき市小名浜方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 5人 9人 小名浜の林城八反田仮設住宅も初めての開催になりました。ペットも飼うことが可能な仮設住宅です。仮設住宅の自治会では、花見や旅行などを企画し活発に活動している感じました。毎朝集まってラジオ体操も行っているそうです。芸能人も多く支援に来ているようです。高齢者の方に多く参加していただいで、楽しく時間を過ごして頂きました。
11	10月3日(土)	郡山市 富田町若宮前仮設住宅 おだがいさまセンター	仮設住宅入居者 (富岡町民)	43人	指導員 合計	2人 2人 こころの絆プロジェクトに協力しました。他にスタッフ21人参加しました。
12	10月4日(日)	いわき市 高久第九仮設住宅	仮設住宅入居者 (檜葉町民)	50人	指導員 合計	2人 2人 こころの絆プロジェクトに協力しました。他にスタッフ16人参加しました。
13	10月9日(金)	三春町 斎藤里内仮設住宅	仮設住宅入居者他 近隣仮設住宅入居者 (川内村民)	30人	支部職員 指導員 地区分区 三春町赤十字奉仕団 合計	2人 2人 4人 5人 13人 斎藤里内仮設住宅での開催は初めてになります。当日は仮設団地内でお葬式が行われることから、参加者が減るとのことで、近隣の仮設住宅の方に急きょ声を掛けて集まって頂きました。奉仕団が用意した紙風船バレーでは皆さん楽しそうに身体を動かされていました。

2015年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
14	10月14日(水)	三春町 狐田仮設住宅	仮設住宅入居者 (葛尾村民)	32人	支部職員 指導員 地区分区 東北協同乳業 三春町赤十字奉仕団 合計	2人 2人 3人 2人 5人 14人 他の葛尾村の仮設住宅と同様に、集会所は住民の皆さんが作成した手芸作品がたくさん飾ってありました。当日は、体調のすぐれない方もいて、予定よりも参加者が減ってしまいました。また、男性の参加者は今回も少なかったとのこと。参加された方にはご高齢の方が多く、立ち上がり方などの練習に真剣に取り組んでいました。
15	11月10日(火)	いわき市 平下高久仮設住宅	仮設住宅入居者 (富岡町民)	22人	支部職員 指導員 地区分区 いわき市平方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 2人 5人 11人 平下高久仮設住宅には100戸の住宅が建っていて、現在は60世帯110名程が生活しています。災害公営住宅に移ったり、家を新築したりして出て行く方もいるようで、震災から4年半が経ち少しずつ状況は変わって来ていると感じました。また、健康教室などのスケジュールが毎日あるそうです。
16	11月13日(金)	三春町 旧中郷小学校仮設住宅	仮設住宅入居者 (葛尾村民)	26人	支部職員 指導員 地区分区 三春町赤十字奉仕団 合計	2人 2人 3人 5人 12人 指導員として来ていただいたケアプロGRESSジャパンの中本さんからは、足のマッサージ、立ち上がり方、転び方などを指導していただきました。参加者から「転んでしまった時、しりもちをついた時にはどうするの？」など、次々と質問が出て、実戦を交えて教えていただきました。参加者は大変興味深く話を聞いていました。
17	11月19日(木)	いわき市 富岡町多目的集会施設	借上げ住宅入居者 (富岡町民)	27人	支部職員 指導員 地区分区 いわき市平方部赤十字奉仕団 合計	2人 2人 1人 5人 10人 復興支援・広報事業として、ふくしまFM特別番組の中で取材をしていただきました。県支部の方に復興支援やにこにこ健康教室の概要を話していただき、参加者にも感想など述べていただきました。5分間の生中継で短い時間でしたが、コンパクトに情報発信ができ良い機会であったと思います。
18	12月9日(水)	伊達市 伏黒仮設住宅	仮設住宅入居者 (飯舘村民)	36人	支部職員 指導員 地区分区 伊達市赤十字奉仕団 合計	2人 2人 1人 7人 12人 伏黒仮設住宅では毎年開催しています。この仮設住宅には子供は住んでいません。前から行っている健康チェックは筑波大の協力で今も続いており、そのためか、ほとんどの方が毎日散歩やラジオ体操を行っています。

2015年度

事業名

赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
19	12月15日(火)	南相馬市 あすなろデイサービスセンター	近隣仮設住宅入居者 借上げ住宅入居者	49人	支部職員 指導員 地区分区 デイサービス職員 南相馬市鹿島赤十字奉仕団 合計	2人 2人 2人 12人 6人 24人 以前から希望のあった、社会福祉協議会が主催しているデイサービスの「サロン」での開催となりました。参加者は近隣の仮設住宅入居者と借上げ住宅入居者、主に小高区から避難した方々で、ご高齢の単身者が多いようでした。奉仕団からの出し物の「安来節」は、ひよっとこのお面と衣装をつけての本格的なものでした。踊った奉仕団の方は、「最近、足腰が痛くて昔のようにできない」と言っていました。参加者は大喜びでした。
20	1月15日(金)	二本松市 岳下住民センター仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	34人	支部職員 指導員 地区分区 二本松市赤十字奉仕団 合計	2人 2人 6人 5人 15人 足利赤十字病院から来ていただいた看護師長はリハビリ科ということで、ストレッチ体操など、役立つ知識を教えてくださいました。参加者の皆さんは、感心しながら取り組んでいました。奉仕団の皆さんと仮設入居者の皆さんは地元のイベント「絆まつり」で交流があるそうで、再会を喜んでいました。
21	1月27日(水)	福島市 南矢野目仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	39人	支部職員 指導員 地区分区 本社取材スタッフ 福島市湯野赤十字奉仕団 合計	3人 2人 3人 2人 5人 15人 連盟のニュースワイヤーやウェブサイトでの記事掲載用に本社からの取材がありました。仮設住宅の自治会長さんをはじめ参加者の方にご協力いただきましたが、インタビュー中に涙ぐむ方もいて、5年を経てなお辛い現実があることを痛感させられました。フラワーアレンジメントは癒しの時間となり、レクリエーションでは相馬盆歌にあわせて踊りも楽しみました。
22	2月14日(日)	郡山市 南一丁目仮設住宅内 あさかの杜ゆふね (日赤×ANA復興支援事業 バレンタイン特別企画)	仮設住宅入居者 (川内村民)	72人	支部職員 本社職員 指導員 地区分区 川内村赤十字奉仕団 全日空 合計	6人 3人 1人 5人 7人 16人 38人 本社からの依頼でANAと一緒にを行う支援も3度目となり、今回も参加者には大変喜んでいただきました。仮設住宅には、高齢者が多く住んでおられることから、健康教室とバレンタインにちなんだチョコレート作りをANAのスタッフと一緒に体験して、楽しい時間を過ごしていただきました。川内村赤十字奉仕団には豚汁を作ってください好評でした。

2015年度 事業名 赤十字にこにこ健康教室

No.	実施日	場所・会場	対象者	参加人数	活動人数	コメント
23	2月16日(火)	福島市 松川工業団地第一仮設住宅	仮設住宅入居者 (飯館村民)	35人	支部職員 指導員 飯野町赤十字奉仕団 集会所管理人 合計	2人 2人 5人 2人 11人 昨年度「こうくうフェア」でお世話になった仮設住宅団地で行いました。千葉県支部から来ていただいた参事には、毛布ガウンなどを指導してもらいました。飯野町赤十字奉仕団の指導で昔懐かしいあやとりを全員で行い、みなさん子供に戻ったように楽しんでいました。
24	2月23日(火)	二本松市 安達運動場仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	45人	支部職員 指導員 地区分区 二本松市安達赤十字奉仕団 合計	2人 2人 7人 5人 16人 当初は250世帯もあった規模の大きい仮設住宅でしたが、現在は100世帯ほどになっています。南相馬市に災害公営住宅が建設中なので、もうすぐそちらに移る方が多いだろうということでした。冒頭で県支部課長より説明した海外救援金や義援金についての説明には、改めて認識を深めたようで、感心して聞いていたようです。レクリエーションでは、お手玉回しなどをして楽しんでいました。
25	3月17日(木)	本宮市 石神第一仮設住宅	仮設住宅入居者 (浪江町民)	33人	支部職員 指導員 地区分区 本宮市白沢赤十字奉仕団 合計	2人 3人 7人 5人 17人 石神第一仮設住宅の戸数は57ですが、27世帯に減って来ています。借上げ住宅や災害公営住宅に引っ越される方が、増えて来ているとのこと。岡山県支部のお二人には、岡山県支部で力を入れているリラクゼーション、ハンドマッサージをしていただきました。
26	3月24日(木)	会津若松市 一箕町長原仮設住宅	仮設住宅入居者 (大熊町民)	26人	支部職員 指導員 喜多方市地区 喜多方市赤十字奉仕団 合計	1人 1人 1人 7人 10人 喜多方市赤十字奉仕団は震災直後から継続して、この仮設住宅で活動をし交流を続けています。入居者の減少に伴って、行事への参加者も減っているそうですが、日赤のイベントには「日赤が来るから」と言いつつもより大勢集まってくれるようです。